

がんばる！地域！

vol. 29

内田

コミュニティの希薄化が課題となっている現在、広川町では、地域のつながりをさらに深めるために「地域コミュニティ推進事業」を進めています。

各行政区では、区民が主役の特徴ある活動が行われています。このコーナーでは、各行政区の取り組みを紹介していきます。第29回は「内田区」です。

内田区は北の鴨谷、集落内の五ヶ村水路や田園など、自然豊かな風景が広がる地域です。その中で暮らす区民は、おおらかで思いやりにあふれています。

人と人との絆や助け合いの心を大切にしながら、豊かな自然を守り、区民だれもが生涯現役でいきいきと元気に安心して暮らせる「自然いっぱい 夢いっぱいの区」を目指していきます。

ふれあいと交流のある地域づくり

誰もが参加しやすいイベント（運動会やグラウンドゴルフなど）を行い、区民の親睦と交流を図っています。



グラウンドゴルフ



きらめき学習

高齢者が元気に暮らせる地域づくり

高齢者がいつまでも元気に暮らせるよう、「やすらぎの会」でサロン活動を行っています。参加する高齢者からは大変好評で、今後活動を充実させる予定です。

サロン活動⇒



安全安心な地域づくり

子どもから高齢者まで安全・安心に暮らせるよう、自主防災組織で防災訓練などを行っています。

交通量の多い県道では、信号機の設置要望など安全対策に取り組んでいます。

防災訓練⇒



豊かな自然環境を活かした地域づくり

ホタルの飛び交う豊かな自然環境を守るため、水環境の整備、花いっぱい運動などを行い、区内の環境美化に努めています。

環境美化活動⇒



SDGs(持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した2030年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

SDGs: 目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

達成のために広川で頑張っている人 → 「電気を見直した人」

平成28年に日本でも電力の小売りが自由化されましたが、自宅の電気は見直しましたか？実際に見直そうと各電力会社のホームページや資料を見ると、多くのことに気づくと思います。

ホームページや資料では、さまざまな観点から情報が公表されています。例えば、環境に対する取り組み

状況や、供給している電気中の再生可能エネルギー率、中には生産者の情報が分かる電力会社などもあります。まるで食品みたいですね。

ここから分かるように、今の時代、電力会社を選ぶ基準は「料金」だけではありません。

この機会に、一度電気を見直してみませんか？



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

世界の12億人以上は、電気を使えない生活をしています。これらの地域では室内で薪や墨を燃やすため、汚れた空気による健康被害も出ています。もちろん、夜間の仕事や勉強もできません。発電を化石燃料や原子力に頼っている現在、使用する人が増えれば増えるほど、温暖化や核廃棄物など別の問題をもたらします。再生可能エネルギーの更なる普及が必要です。とはいえ、再生可能エネルギーが世界の人々にとって手の届かない価格だと解決になりません。安価でクリーンなエネルギーが求められているのです。



国際理解教育推進員
糀広大

より深く知るために、次のようなキーワードで検索してみましょう。

再生可能エネルギー	検索	電力自由化	検索
-----------	----	-------	----

広川文芸

ひさいずみ文化祭

11月10日(土)、久泉区公民館で「第7回ひさいずみ文化祭」が行われました。今年のテーマは「プラス+」。訪れた皆さんの気持ちはプラスになるような企画が盛りだくさんでした。

毎年好評の焼きたてピザは、午前中で完売。午後からは、

ら行われた芸能発表では、銭太鼓や太極拳、プラスパンドなどが披露されました。当日は区民の皆さんの作品(絵手紙や写真、陶芸など)も展示。制作者に「どうやったらかんな表現ができるのか」と質問する来場者の姿も見られました。